

第4編

新たな視点による 重点プロジェクト



記載内容（案）

- 平成30年以降の産地間競争の激化を踏まえた対応
- 人口減少社会を見据えた多様な担い手・労働力確保
- 第4次産業革命による農林水産イノベーション推進対策（先端技術関係）
- 企業とタイアップした流通販売体制の構築（販路拡大関係）

など

第5編

主 要 指 標



第3期農林水産ビジョン

1 主要指標

(1) 農 業

総農家戸数、農業就業人口、耕地面積は、減少するものと見込まれますが、地域農業を牽引する競争力の高い経営体の育成、オール秋田で取り組むブランド農業の拡大、付加価値を生み出す6次産業化の推進などにより、生産性・収益性の高い農業の確立を目指します。

(2) 林 業

林業の担い手確保・育成や、林内路網の整備や高性能林業機械の導入等による原木の低コスト供給の確立とともに、品質・性能の確かな製品を安定的に供給できる体制を構築し、秋田スギ製品の地産地消や県外への出荷拡大を推進します。

(3) 水産業

つくり育てる漁業の推進により、マダイ、ヒラメ、トラフグ等の資源の維持・増大、適切な資源管理による漁獲量の安定化、さらに鮮度保持技術の導入や地魚を使った加工品開発等により、新たな水産ビジネスの展開を目指します。

項 目		基準年		H33	増減率
産出額 (百万円)	農業産出額	H27	161,200	188,100	116.7%
	林業産出額	H27	17,010	21,660	127.3%
	うち 生しいたけ	H27	4,280	6,400	149.5%
	漁業産出額	H27	3,099	3,257	105.1%
	計		181,309	213,017	117.5%
農林漁家 (戸)	総農家数	H27	49,048	43,908	89.5%
	認定農業者数	H28	10,369	9,480	91.4%
	集落型農業法人数	H28	268	380	141.8%
	主業的漁家数	H28	114	122	107.0%
労働力 (人)	農業就業人口	H27	54,827	39,122	71.4%
	林業従業者数	H27	1,407	1,490	105.9%
	漁業就業者数	H27	747	576	77.1%
生産基盤 (ha)	耕地面積	H28	149,000	146,600	98.4%
	スギ人工林整備面積	H28	8,045	9,800	121.8%

2 産出額

(1) 農業産出額

- 主要作目の作付面積、生産量、単価の推計をベースに各作目ごとの生産額を推定しました。
- 農業産出額は1,881億円(基準年対比117%)を見込んでいます。
- えだまめやねぎ、アスパラガスなどのナショナルブランド産地の育成に加え、菌床しいたけや、県産牛の増産等により、野菜や畜産の産出額の増加を見込んでいます。
- 一方、米については、米価が回復基調にあることや、販売を起点とした米づくりで需要量の減少に歯止めを掛けることにより、基準年からの増加を見込んでいます。

(2) 林業産出額

- 木材生産量、需要量、単価の推計をベースに生産額を推定しました。
- 間伐等による素材生産量の増加、菌床しいたけの生産拡大等により、林業産出額は216億円(基準年対比127%)を見込んでいます。

(3) 漁業産出額

- 主要魚種の漁獲量、単価、栽培漁業対象種の放流数の推計をベースに産出額を推定しました。
- マダイ、ヒラメ、トラフグ等の収益性の高い種苗の生産・放流による資源の維持・増大、適切な資源管理による漁獲量の安定化、さらにブランド化の推進による魚価の向上により、漁業産出額は32億円(基準年対比105%)を見込んでいます。

(単位: 百万円、%)

項 目	基準年(H27)		H33		増減率	増減
農業産出額	161,200	100.0%	188,100	100.0%	116.7%	26,900
米(新規需要米等含む)	85,400	53.0%	97,700	51.9%	114.4%	12,300
野 菜	26,900	16.7%	33,354	17.7%	124.0%	6,454
果 樹	6,400	4.0%	6,700	3.6%	104.7%	300
花 き	3,100	1.9%	4,000	2.1%	129.0%	900
畜 産	35,200	21.8%	40,922	21.8%	116.3%	5,722
その他	4,100	2.5%	5,424	2.9%	132.3%	1,324
林業産出額	17,010	100.0%	21,660	100.0%	127.3%	4,650
うち 生しいたけ	4,280	25.2%	6,400	29.5%	149.5%	2,120
漁業産出額	3,099	—	3,257	—	105.1%	158

※H27農業産出額：端数調整のため合計が一致しない

3 農家戸数

- 平成17年から平成27年までの10年間の変化をもとに回帰分析で推定しました。
- 総農家数は、基準年の約90%まで減少しますが、担い手への農地集積が進み、5ha以上層が増加し、経営の大規模化の進展が見込まれます。

(単位:戸、%)

項 目	基準年(H27)		H33		増減率	増減
販売農家	37,810	100.0%	32,066	100.0%	84.8%	▲ 5,744
1ha未満	11,041	29.2%	6,859	21.4%	62.1%	▲ 4,182
1ha～2ha	11,088	29.3%	7,070	22.0%	63.8%	▲ 4,018
2ha～3ha	6,011	15.9%	7,129	22.2%	118.6%	1,118
3ha～5ha	4,823	12.8%	5,999	18.7%	124.4%	1,176
5ha～10ha	3,182	8.4%	3,312	10.3%	104.1%	130
10ha以上	1,665	4.4%	1,697	5.3%	101.9%	32
自給的農家	11,238	—	11,842	—	105.4%	604
総農家数	49,048	—	43,908	—	89.5%	▲ 5,140

4 労働力

(1) 農業就業人口

- 平成22年から平成27年までの5年間の推移からコーホート法及び回帰分析により推定しました。
- 農業就業人口は、基準年の71%に相当する39,122人まで減少すると予想されます。
また、高齢化の進行により、65歳以上の割合が73%まで高くなり、男女別では男性の割合が女性を大きく上回るものと見込まれます。

(2) 林業従事者数

- 新規就業者等に対する技能研修や認定事業体に対する支援などの実施により、将来的に林業労働力は雇用条件の整った認定事業体に集約されることが予想されます。
- 今後スギ人工林が本格的な伐期を迎え素材生産量が増加するものと予想されることから、高性能林業機械を操作できる若い担い手が確保・育成され、就業者数は概ね増加するものと見込まれます。

(3) 漁業就業人口

- 平成17年から平成22年までの5年間の推移からコーホート法により推定しました。
- 高齢化の進行等により、65歳以上の割合が59%まで高くなると推定され、女性の割合は、15%前後で推移するものと見込まれます。

(単位: 人、%)

項 目	基準年(H27)		H33		増減率	増減
農業就業人口	54,827	100.0%	39,122	100.0%	71.4%	▲ 15,705
15～39歳	2,913	5.3%	1,733	4.4%	59.5%	▲ 1,180
40～64歳	16,865	30.8%	8,782	22.4%	52.1%	▲ 8,083
65歳以上	35,049	63.9%	28,608	73.1%	81.6%	▲ 6,441
男性	29,009	52.9%	22,311	57.0%	76.9%	▲ 6,698
女性	25,818	47.1%	16,812	43.0%	65.1%	▲ 9,006
林業従事者数	1,407	—	1,490	—	105.9%	83
漁業就業人口	747	100.0%	576	100.0%	77.1%	▲ 171
15～39歳	84	11.2%	60	10.4%	71.4%	▲ 24
40～64歳	278	37.2%	177	30.7%	63.7%	▲ 101
65歳以上	385	51.5%	339	58.9%	88.1%	▲ 46
男性	635	85.0%	491	85.2%	77.3%	▲ 144
女性	112	15.0%	85	14.8%	75.9%	▲ 27

5 生産基盤

- 耕地面積は、農地の開発・造成、農地のかい廃から推計して、146,600ha程度になると推定されます。
- スギ人工林整備面積は、間伐や下刈、枝打ち等で、9,800haの森林整備量を見込んでいます。

(単位:ha、%)

項 目	基準年(H28)		H33		増減率	増減
耕地面積	149,000	100.0%	146,600	100.0%	98.4%	▲ 2,400
田	130,100	87.3%	129,000	88.0%	99.2%	▲ 1,100
畑	18,800	12.6%	17,600	12.0%	93.6%	▲ 1,200
スギ人工林整備面積	8,045	—	9,800	—	121.8%	1,755

※耕地面積は端数処理の関係で合計が一致しない

「攻めの農林水産業」

平成27年

 担い手の集積率 71.5%
 うち認定農業者 57.3%

集落営農（特定農業団体）2.0千ha（1.3%） 68組織（2,040戸）							
認定農業者（9.4%） （法人） 14.0千ha 548法人 （5,865戸）	①土地利用型（米、大豆主体）（4.8%） 7.2千ha／221法人（3,094戸）（33ha/法人） ②複合型（水稻＋野菜・花き等）（3.8%） 5.7千ha／188法人（2,632戸）（30ha/法人） ③複合型/個別（水稻＋野菜・花き等）（0.2%） 0.3千ha／22法人（22戸）（14ha/法人） ③園芸専作型（野菜、花き、果樹）（0.3%） 383ha／44法人（44戸）（9ha/法人） ④畜産専作型（0.3%） 406ha／73法人（73戸）（6ha/法人）						
認定農業者（47.9%） （個別経営） 71.6千ha 10,077戸	<table> <tr> <td> 水稲が主（25.1%） 37.5千ha／4,493戸（8.3ha/戸） </td><td></td></tr> <tr> <td> 水稲＋複合部門 32.1千ha（21.5%） ①野菜 25.6千ha／4,013戸（6.4ha/戸） ②花き 1.9千ha／290戸（6.5ha/戸） ③果樹 1.9千ha／337戸（5.6ha/戸） ④畜産 2.7千ha／415戸（6.6ha/戸） </td><td>）</td></tr> <tr> <td> 専作経営 2.0千ha（1.3%） ①野菜 553ha／166戸（3.3ha/戸） ②花き 161ha／52戸（3.1ha/戸） ③果樹 397ha／166戸（2.4ha/戸） ④畜産 883ha／145戸（6.1ha/戸） </td><td>）</td></tr> </table>	水稲が主（25.1%） 37.5千ha／4,493戸（8.3ha/戸）		水稲＋複合部門 32.1千ha（21.5%） ①野菜 25.6千ha／4,013戸（6.4ha/戸） ②花き 1.9千ha／290戸（6.5ha/戸） ③果樹 1.9千ha／337戸（5.6ha/戸） ④畜産 2.7千ha／415戸（6.6ha/戸）	）	専作経営 2.0千ha（1.3%） ①野菜 553ha／166戸（3.3ha/戸） ②花き 161ha／52戸（3.1ha/戸） ③果樹 397ha／166戸（2.4ha/戸） ④畜産 883ha／145戸（6.1ha/戸）	）
水稲が主（25.1%） 37.5千ha／4,493戸（8.3ha/戸）							
水稲＋複合部門 32.1千ha（21.5%） ①野菜 25.6千ha／4,013戸（6.4ha/戸） ②花き 1.9千ha／290戸（6.5ha/戸） ③果樹 1.9千ha／337戸（5.6ha/戸） ④畜産 2.7千ha／415戸（6.6ha/戸）	）						
専作経営 2.0千ha（1.3%） ①野菜 553ha／166戸（3.3ha/戸） ②花き 161ha／52戸（3.1ha/戸） ③果樹 397ha／166戸（2.4ha/戸） ④畜産 883ha／145戸（6.1ha/戸）	）						
今後育成すべき農業者（12.9%） 19.3千ha 3,771戸							
集落営農 9千ha／347組織（10,410戸）（6.1%）							
その他農業者（販売農家 37,810戸、自給的農家 11,238戸）（22.4%）							

へ展開する担い手像

平成33年

担い手の集積率 83.2%
うち認定農業者 82.3%

誘導

新規就農者

認定農業者 (法人) (20.8%) 30.4千ha 850法人 (5,790戸)		集落営農（特定農業団体） 1.4千ha (0.9%) 45組織(1,350戸)
認定農業者 (個別経営) (61.5%) 89.8千ha 8,630戸		①土地利用型（米、大豆主体）(4.1%) 6千ha/60法人(840戸)（100ha/法人） ②複合型/組織（水稲＋野菜・花き等）(8.8%) 12.8千ha/320法人(4,480戸)（40ha/法人） ③複合型/個別（水稲＋野菜・花き等）(6.8%) 9.9千ha/330法人(330戸)（30ha/法人） ④園芸専作型（野菜・花き・果樹）(0.8%) 1,120ha/70法人（70戸）（16ha/法人） ⑤畜産専作型（0.4%） 560ha/70法人（70戸）（8ha/法人） ⑥6次産業化型
		水稲が主 (11.0%) 16千ha／800戸（20ha/戸）
		水稲＋複合部門 (45.5%) 66.5千ha／6,280戸 ①野菜 54.8千ha/4,980戸（11ha/戸） ②花き 3.6千ha/ 400戸（ 9ha/戸） ③果樹 2.7千ha/ 300戸（ 9ha/戸） ④畜産 5.4千ha/ 600戸（ 9ha/戸）
		専作経営 (5.0%) 7.4千ha／1,550戸 ①野菜 750ha/250戸（3ha/戸） ②花き 300ha/100戸（3ha/戸） ③果樹 900ha/300戸（3ha/戸） ④畜産 5.4千ha/900戸（6ha/戸）
		集落営農 5.6千ha／187組織（5,610戸） (3.8%)
		その他農業者 (13.0%)

第6編

参 考 資 料



第3期農林水産ビジョン

資料 1 用語解説

資料 2 目指す成果（指標）一覧

資料 3 施策体系一覧表（索引）

